

おうちの方へ

小 / 算数 / 1年 / 数と計算 /
おうちの方へ / 理解シート

4 (よん, し), 7 (なな, しち) のように, なぜ,
2通りの読み方があるのですか



日本の2通りの数詞が, 混じって使われているためです。

1

日本には, 2種の数詞があります。

日本の数詞は, 「いち, に, さん, し, ご, ろく, しち, はち, く, じゅう」と, 「ひと(つ), ふた(つ), みっ(つ), よっ(つ), いつ(つ), むっ(つ), なな(つ), やっ(つ), ここの(つ), とお」の, 2通りの唱え方があります。

一般には, この2通りが混じって使われています。

そこで, 「いち, に, さん, よん, ご, ろく, なな, はち, く, じゅう」と, 唱えられることが多くあります。

小学校の数の入門期には, 「いち, に, さん, し, ご, ろく, しち, はち, く, じゅう」の唱え方で勉強することになっています。

2

数のことばは, 助数詞などによって発音が変わります。

日本の数の読み方は, 助数詞がつくと, 発音しやすいように別の音にかわることでよくあります。

例・匹……1匹(いっぴき), 2匹, 3匹(さんびき), 4匹(よんひき), 5匹, 6匹(ろっぴき), 7匹(ななひき), 8匹(はっぴき), 9匹(きゅうひき), 10匹(じっぴき, じゅうひき)

・本……1本(いっほん), 2本, 3本(さんほん), 4本(よんほん), 5本, 6本(ろっほん), 7本(ななほん), 8本(はっほん), 9本(きゅうほん), 10本(じっほん, じゅうほん)などがあります。

また, 9は, 大きな数になると, 「きゅう」と唱えることが多くなっています。

このような学習は, 数の勉強が進んだ段階で, 必要に応じて, 勉強することになります。